**中国**
**南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業**
**現地からのお便り（2023 年 7 月～2024 年 6 月）**

**2024 年 8 月**
**コンサベーション・インターナショナル**

今年度はプロジェクト最終年となり、活動は主にモニタリングを行いました。今回は 10 年間の活動の成果およびインパクトを中心に報告します。

## １．生物多様性面でのインパクト

1）10 年間を通して、27,000 本以上の苗木と、1,200kg の樹種が植樹されました

2）四川省と雲南省で合計 35ha のアグロフォレストリ—のデモサイトと、1,000ha のコミュニティ保全林が新たに設置されました。それに伴い、対象村でもこれらの森林保全やパトロール活動を拡大して取り組んでいます

3）プロジェクト活動により、432,600ha の森林が直接/間接的に保全の恩恵を受けています

4）ガンプ村ではヤギ放牧による苗木や若木への被害は見られなくなりました

5）ガンプ村および周辺地域における生物多様性モニタリングの結果、2015 年から 2023 年にかけて、鳥類および昆虫類の種類がそれぞれ 12→51、22→76 に増加しました [1]

## ２．社会面でのインパクト

1）プロジェクトの成果により、ガンプ村は理県の「Eco Star」と呼ばれ、中国の“Rural Revitalization”戦略の優良モデルと評価されるようになりました。ガンプ村の森林再生/保全の取り組みを学びに、近隣村、他県からの視察も増えています

2）保全契約を用いたアプローチは、コミュニティの森林保全への関心や意識を高める機運になるとして、地域政府からも注目されています

3）地域の環境および生態系保全の観点から、村の人々はこれまで用いていた殺虫剤に代わり、ボルドー液や石灰硫黄合剤などより環境に配慮した害虫対策について理解を深め、活用するようになりました

[1] *鳥類、昆虫類の種類は地域の生態系の豊かさを表す指標として世界中で用いられています

4）ガンプ村はプロジェクトで得た知見を活かして、地域政府からエコツーリズム活動発展のために必要なインフラ整備のための資金を獲得することができました

## ３．経済面でのインパクト

1）ガンプ村はアグロフォレストリ—サイトを農業共同組合に 2018 年から 2038 年までの 20 年間、年間 18,000 元（約 36.2 万円 [2]）で貸借する契約を締結したため、今後 20 年で合計 360,000 元（約 724 万円）の収入がガンプ村に入ることが見込まれます。これらの収入は村の公的な目的に使われる予定です

2）プロジェクトではガンプ村の中でも特に貧困層の女性を積極的にアグロフォレストリ—のデモサイトでの仕事に採用してきました。アグロフォレストリ—による事業収入は年間 250,000 元（約 503 万円）にまで成長しており、女性の貧困削減に貢献しています

3）プロジェクトの経験を経て、ガンプ村は政府の資金支援に積極的にアプローチするようになり、2021 年には開発補助金を 1 億元（約 2 億円）獲得することが出来ました。他の村では 30-40 万元（約 600-800 万円）程度が通常なため、非常に大きな成果と言えます

## ダイキンプロジェクト 10 年間の振り返り

このようにダイキンプロジェクトの 10 年間の成果は多岐にわたり、ガンプ村および雲南省のプロジェクトサイトに大きなインパクトをもたらしました。特に 10 年間という長期間のコミットがあったことで、自然や人の変化および成長のモニタリングを十分できたことは幸いでした。

一方でプロジェクトを通じた教訓もあり、例えばガンプ村は政治的な要因により外部関係者の立ち入りが制限され、モニタリングが容易に実施できないという課題がありました。また、10 年間には主要ステークホルダーや実施チームメンバーの交代も度々生じ、全員が同じビジョンおよび計画を維持しながらプロジェクトを実施する難しさも感じました。加えて、内部外部との適時なコミュニケーションも課題として挙がりました。これらの点はプロジェクト関係者で反省し、今後の改善に繋げていきたいと考えています。

[2] 2024 年 9 月 10 日レート。当報告書内ではいずれもこのレートを採用

**活動写真**